

確認テスト②

武士の台頭と鎌倉幕府

クラス 氏 名

/100

● 右の略年表を見て、次の問いに答えなさい。

各10点×10

□(1) (㊸) にあてはまる人物の名を答えなさい。

[]

□(2) 下線㉑について、次の問いに答えなさい。

□① この争乱をしずめたのは何氏か。答えなさい。

[]

□② 地方の武士は、都の皇族や貴族、寺院とどのようにして結び付き力をのばしていったか。「荘園」「年貢」の語句を用いて説明しなさい。

[]

年代	できごと
935年	(㊸) が関東地方で反乱をおこす。
1051年	㉑ 東北地方で前九年合戦がおこる。
1086年	白河上皇が(㉒) を始める。
1167年	㉓ 平清盛が太政大臣となる。
1185年	㉔ 鎌倉幕府が開かれる。
1221年	㉕ 後鳥羽上皇が兵を挙げる。
1232年	㉖ 北条泰時が初の武家法を定める。

□(3) (㉒) にあてはまる政治の名を答えなさい。

[]

□(4) 下線㉓について、12世紀後半に京都でおこり、平清盛が源義朝を破って政治の実権をにぎった争乱を何というか、答えなさい。

[]

□(5) 下線㉔について、次の問いに答えなさい。

□① 鎌倉幕府を開いた人物の名を答えなさい。

[]

□② 鎌倉幕府のしくみの中で地方に置かれた守護は、どのような役職か。説明しなさい。

[]

□(6) 下線㉕について、次の問いに答えなさい。

□① この争乱を何というか、答えなさい。

[]

□② この争乱ののち、幕府は、朝廷の動きを監視するためにどのようなことを行ったか。説明しなさい。

[]

□(7) 下線㉖について、この武家法の名を答えなさい。

[]